

今の時期、夕方の西の空にひときわ明るい星が見えます。それは「金星」です。地球よりも内側（太陽側）の軌道にある金星は、常に太陽に近い位置に見えて、決して真夜中には見えません。日没のあとの西の空の「宵の明星（よいのみょうじょう）」か、日の出前の東の空の「明けの明星」のどちらかです。今の時期は太陽よりも東寄りに位置するので、宵の明星が見えるのです。

金星は大抵は「一番星」になりますが、今の時期は等級が $-4.4$ 等と非常に明るく、双眼鏡で見ると眩しいほどです。昨夜はその金星と月が近くに見えました。「三日月型の月」でしたが「三日月」ではなく、月齢 $3.5$ の「五日月」でした。

実は望遠鏡で見ると、今の時期は金星のほうも「半月型」に見えます。金星は内惑星なので、月と同じように「満ち欠け」をするのです。月のように毎日月相（見かけの形状）が変化するわけではありません。しかし、「東

方最大離角」に近い位置にある金星は、地球から見て「半月型」に見えるのです。写真の金星は小さな輝点なので、形状まではわかりません。今夜は、金星が月を追い越しているため、「三日月形の月」が土星と金星に挟まれるような位置に見えます。

2025年1月3日

北軽井沢

